

Freude

vol.6-31 2015.4.22.wed

うたを、2 しあわせやあ。〜と
7つで 団のびあ。by. is.

大阪フロイデ合唱団 Tel 06-6358-2626
〒530-0041 大阪市北区天神橋2-1-18-4B
ホームページ <http://www.osakafreude.com>
メールアドレス info@osakafreude.com

おお? あとひといき...

	S	A	合計
座席数	705	116	821
4/8 2F	633	64	697
4/12 & 15	18	7	25
合計	651	71	722
残	54	45	99

たんたん音も
びまびま
ほかに7Fにもあてひといき!
最初の出發が、あつて、あつて、あつて
のび ああ! 表りどあ!?!と
思ったああ あ? とあつた!
アカンQ. ことわいて、あつて、あつて、あつて
も7Fに、あつて!! あつて!!

★ 団員募集もいし、あつて、あつて、あつて?

2015.4.22

日時	開演	集合	ホール	演目	担当グループ
5/9(土)	18:00	19:30	シンフォニーホール	なにわコレリアーズ 第21回演奏会 高田三郎: 男声合唱組曲「水のいのち」	3.8
5/17(日)	16:00	17:30	いざみホール	かつらぎ会合唱団 第11回定期演奏会石若雅弥(編曲): ミュージカル「美女と野獣」	4.9
5/23(金)	19:00	20:30	シンフォニーホール	大阪フィル×ザ・シンフォニーホール ムソルグスキー(ラヴェル編曲): 組曲「展覧会の絵」	5.0

* 集合場所は「肉店」のあつて、あつて。正しくは、あつて、あつて、あつて

1137 / 06-6944-2828
106-6453-1010



4/29 (水祝)

13:15 ~

大塚CC

(石六)

5/6

おやめ



5/13 (水)

18:30 ~

北區民C



5/20 (水)

18:30 ~

北區民C



練習CD録音作業したぞ\(@o@)/!

4/12(日)朝9:00~12:00...南森町の合唱団事務所に怪しい3人の姿あり(@_@)

以前は重鎮音楽辞典岩井B&いずのペアで作っていた練習CDですが、岩井Bさん病気療養中につき、ミキサー桐島(現在仕事多忙で休団中)&録音岩井Tさん&いず、というトリオで、やっておりまして、3人の都合が、この日曜練習の午前中しか合わず、3時間で4パートやっつけてしまう、という無謀に出ました\(@o@)/! 3月12日に発注した楽譜がドイツから届いたのが4月8日(なんでやねん! 2週間で届くはずやったやんか!) CD聴きながらのエアピアノ練習期間4日間(の通勤時)! ヒドイ弾き間違いは、やり直しましたが、かすり傷(と、勝手に決めた)ミスタッチは、そのまま行っちゃいました。買ってくれる人はCD添付の注意書きをよく見ておくれm(_)_m

というわけで(!) キーボード作業のために、楽譜到着前から集中して1週間ほど「Kv.275 ミサ」聴いてましたが、あの、冗談抜きで、ワタシ、戴冠ミサ(23歳)より、キレイで楽しいと思う!

「Kv.275 ミサ」は、モーツァルト21歳の作品。当時、ザルツブルクの教会の典礼音楽を作曲する仕事だったモーツァルト(ミヒヤエル・ハイドンも同僚)。ところが大司教は「礼拝としてのミサ」が第一で、「添えられる」音楽は短ければ短いほどよい、という考えの持ち主。モーツァルトは音楽の美しさへの理解が無い大司教に不満いっぱい(ミヒヤエル・ハイドンにめちゃくちゃ愚痴っていたそう)で、このミサは、その大司教へのあてつけか、と思うほど短いです! ミサ典礼文に則って6曲構成ですが全部合わせて20分そこそこ(演奏によっては16分なんてものも!)。でも、短い中に美しさを盛り込む天才ワザが光る、若いモーツァルトの魅力全開の、明るい美しい曲です。いず的には、Gloriaの4パートの掛け合い(同じリズムじゃなくて、休符と音符がパートごとにキラメキますねん)が小鳥のようで大好き、それにCredoも詩にぴったりの感じだし。あと、Agnus Dei ソロの掛け合いが、ちょっとオペラのおしゃべりのところみたい。魔笛のムード!? それに、ナルホドなあ、と思ったのは、Gloriaは最初の「Gloria in excelsis deo(天のいと高き所には神の栄光)」が無くて「Et in terra ~ (地には~)」から音楽が始まり、Credoは最初の「Credo in unum Deum(われは信ず、唯一の神)」が無くて「Patrem omnipotentem~(全能の父~)」から音楽が始まります。最初の部分は、礼拝で神父さまがお話しされる、それに音楽が続く、、、ということなんですよね。う~ん、まさにミサの一部! ちなみに、世の中のCDによっては、この「音楽には無い冒頭の部分」をグレゴリオ聖歌っぽいメロディでバスのソリストが歌っている、という演奏もありますんねん、ナルホド~;

この後、モーツァルトはどうとうザルツブルクを飛び出します。「就活」こそ失敗の連続で、貧乏に貧乏を重ね借金地獄ではあったものの、彼の音楽はもうとめられません! 無限に広がって飛び出して! そして、モーツァルト最後の大傑作「レクイエム」。音楽のモチーフは、なんとミヒヤエル・ハイドン「レクイエム」。なんかなあ、ここで思うのよ、ミヒヤエル・ハイドンはモーツァルトの人生で唯一の尊敬する親友だったんじゃないかなって。(と今回のチラシのザルツブルク大聖堂を眺めるいず...)

というわけで! ぜひ来期の「モツレク&モツ275ミサ」(略してモツモツ)うたおうね! お友達も誘おうね! (CDはダビング中です。しばしお待ちを! 楽譜は今日から販売です!) いずでした(^_^)

♪楽譜は「275ミサ」1800円、「レクイエム」1600円 2-あ、ハレライク-方アは。
↑日本2巻は2000円以上ありまア、\(@o@)/